



うしんばん 羅針盤

浦添市立浦添中学校

第6号

進路担当発行

県立高校：推薦入試から特色選抜へ・・・

現中学2年生を対象とした新しい県立高校入試制度『特色選抜』がR7年2月に実施されます。新入試制度についての詳細は、現在、各高校へ作成を依頼している段階で決定しておりませんが、R6年度推薦入試の募集要項や可否判定基準、実績等のリンク表などを参考にしてくださいとの説明がありました。これまでの推薦入試制度の趣旨を継承しつつ、中学校までの基礎学力の確かな定着を図るため、受検者全員に「学力検査」は必須となっています。県教育委員会より配布されている資料等をお知らせ致しますので、ご確認をよろしくお願いいたします。

「特色選抜」の基本方針

①生徒自らが出願できる。

学校推薦ではなく、生徒本人による出願とすることで、意欲的な学習の態度や主体的な進路決定を促す。(中学校長の推薦を受けずに出願できる。)

②生徒の特性や個性を伸ばす。

受検生の志望校を決定するための資料として、各学校・学科の特色をより明確に示すための「育成したい資質・能力」や「目指す生徒像」を作成する。

③学力検査を全員受験する。

義務教育段階の学習内容の確かな定着を図る。(得点は選抜可否の資料とする。)

④受検機会をこれまでどおり確保する。

現行では推薦入試と一般入試で最大2校へ出願する機会があり、受検機会を維持する。(特色選抜と一般選抜のそれぞれ異なる高校へ出願できる。)

⑤ICT活用を推進する。(web出願となる。)

出願システムや採点業務の効率化、複雑化する処理データの一元化等が必要となる。(別添資料②を参照)

各学校が実施する選抜項目の一覧(案)

浦添中学校ホームページ「てだっこ+」に掲載していますのでご覧ください。

選抜項目等一覧の見方について

【全日制課程】 ※選抜項目における記号について ○:必須項目(すべての志願者)、△:1項目選択の必須項目(すべての志願者)、■:特別枠志願者のみ追加項目

学校番号	学校名	課程	学科	コース等	募集定員に占める募集人員の割合(%)	重視する観点	学力検査	調査書	面接	集団面接	実技検査	口頭試問	自由課題	作文	プレゼン	検査方法
① 1	② 辺土名	③ 全	④ 普通		⑤ 25	【全学科共通】 ○基本的な生活習慣 ○基礎学力が身に付いており、本校の教育活動に主体的に参加し、かつ継続的な努力ができる生徒。 ○目標を持ち、その目標実現に向け積極的・意欲的に勉学に励むことが出来る生徒。 ○得意とする分野で顕著な活躍があり、入学後も継続することが出来る生徒。										○プレゼンテーションから得た学び(入学後に取り組みたいことについて)を分程度発表する。当日は、紙媒体でも3部準備すること。

① 学校番号

② 学校名

③ 課程：全日制課程、定時制課程ごとに分けて掲載しています。

※ 通信制課程は、実施なし。

④ 学科・コース等

⑤ 募集定員に占める募集人員の割合(%)

⑥ 重視する観点：学校が求める生徒像を基に、特色選抜において選抜する際に重視する観点を記載しています。

※ 学校によっては、学科ごと、コースごとに、分けて記載しています。

⑦ 選抜項目

<記号について>

○：すべての志願者が受検する必須項目

△：すべての志願者が複数項目の中から1項目を選択して受検する必須項目

■：特別枠志願者のみが受検する追加項目

<選抜項目について>

・学力検査：思考力等を問う記述式問題を除いた250点満点(5教科×50点)の得点

※ 学校によっては特定の教科に傾斜をかけることもあります。

<選抜項目について>

・調査書：次のア～エを点数化(段階評価含む)したもの

ア「各教科の学習の記録」の評定 イ「総合的な学習の時間の記録」

ウ「特別活動の記録」、「行動の記録」 エ 各種大会における実績、資格・検定等

※ 大会実績、資格・検定等の点数化等については、各学校のHPに掲載されている前年度の“実績等点数化一覧”をご確認ください。

⑧ 検査方法

選抜項目における補足説明を記載しています。

※ 選抜項目の比重や点数化等については、詳細版に記載します。(現在、各学校へ詳細版の作成を依頼しているところです。)

志望理由

～推薦内定合格者から、後輩へのメッセージ～

- ・将来教師になるために大学進学を考えているので、県内トップクラスの大学進学率を誇り、早朝講座や夏期講座など学習カリキュラムが充実している高校で勉強したかったから。(那覇国際)
- ・相撲を頑張りたいから。(中部農林)
- ・部活動が盛んで強いし、勉強と部活動の両立をするため。大学進学率も高いから。(興南)
- ・より質の高い専門的な勉強ができると考えたから。(国立高専)
- ・将来の夢に向けて勉強と部活動の両立できる環境にあって、そこで頑張れると思ったから。(興南)
- ・自分の学力のレベルに合っていて、将来の選択肢が増えると思ったから。(西原)
- ・将来のためにいい大学へ進学するには、この高校が合っていると思ったから。(沖尚)
- ・勉強と部活動の両立ができる高校であり、将来の夢につながれると思ったから。自分が頑張れそうと思ったから。国立大学進学を目指しながらバレー部での活動も両立させたいため。(浦添)
- ・文武両道と聞き、高校でも頑張りたいと思ったし、大学進学も考えているから。(浦添)
- ・ハンドボールが続けたかったことと、友達も志望していたから。(浦添)
- ・大学進学を考えていて『自立』の考えが大切だと思い、学校目標が『自立』とある高校を選んだ。また、文武両道でハンドボールが強いから。(那覇西)
- ・勉強と部活動を両立できると思ったから。(小禄)
- ・将来、観光業に就きたいと思ったから。(浦添商業)
- ・母親の職場に職場体験したことがきっかけで興味を持ち、詳しく学びたいと思ったから。(那覇商業)
- ・たくさん資格が取れることと、学校の雰囲気が楽しそうだなと思ったから。(那覇商業)
- ・吹奏楽の強豪校であり、進学校だから。(那覇)
- ・文武両道を掲げていて、それをしっかり実践している学校で学びたかったから。(西原)
- ・高校でも部活動を続けたいと思っていたから、部活動が強い高校を選んだ。(西原)
- ・生徒一人一人の演奏技術向上における環境が整っているから。(開邦)
- ・強化指定種目に男子ハンドボールが入っていることや、部活だけでなく勉強との両立もできると思ったから。勉強と部活を両立させたいから。野球に力を入れているから。(浦添)
- ・芸能活動と学業を両立できる環境が整っていて、自分のペースで学習できるから。(県外私立)
- ・自分の夢を叶えるため。(浦添工業)
- ・高いレベルで野球がしたい。大学、プロと続けるため。(県外私立)



◎やって良かったこと

- ・1年生の頃からコツコツ毎日勉強していたことで学力がつき、テストで高得点をキープすることができた。
- ・級長や副級長、生徒会副会長など様々な役職を受け持つことができた。
- ・苦手なことも嫌いなことも、どんなこともあきらめずに努力したこと。
- ・あいさつをしたり、校則を守ったこと。
- ・部活動や級長などを真剣に取り組んだこと。学校行事や委員会活動に積極的に参加したこと。
- ・学級のことをやったこと。
- ・定期テスト対策をしっかりとしたこと。勉強に全力で取り組んだこと。
- ・漢検準2級に合格したこと。
- ・クラスで協力して行事に取り組めたこと。
- ・英検、漢検、数検の資格を取っていたこと。
- ・生徒指導や遅刻が1回もなかったこと。
- ・塾に入って真剣に勉強したこと。
- ・委員会活動、勉強、部活動をすべて頑張ったこと。
- ・提出物をしっかりやって、2・3年で内申を上げたこと。
- ・賞状をもらうような実績があったこと。
- ・1年生のときに良い評価を取っていたこと。
- ・つらい練習を乗り越え、部活動で大きな実績を得られたこと。部活動を3年間頑張って続けてきたこと
- ・毎日登校し、ほぼ休まなかったこと。
- ・3年間、委員会に入って活動していたこと。
- ・習い事を一生懸命やっていたこと。

○やっておけば良かったこと

- ・毎回の単元テスト、定期テストに全力を出せば良かった。
- ・苦手な教科でも自分なりに一生懸命課題に取り組み、内申を上げておけば良かった。
- ・日頃からもっと家でも勉強したり、わからないものはちゃんと復習しておけば良かった。
- ・外部のコンクールや大会に積極的に参加しておけば良かった。
- ・1年で提出物が、評価Bが多かったのでもっとちゃんとやってAを増やしておけば良かった。
- ・2年生のとき気を抜かずに、2、3年でも高い評価を目指しておけば良かった。
- ・部活動に入っておけば良かった。
- ・日頃の授業から発表を積極的にして、評価を上げておく
- ・1、2年のときから高校のことを意識して検定を受けておくこと。
- ・テストでもっといい点数をとっておけば良かった。
- ・1年のときから真剣に授業を受けて内申を上げつつ、学力向上を目指しておけば良かった。
- ・3年生になる前に、自分の得意なことを見つけておけばよかった。
- ・授業で習ったことは、その日のうちに完璧にわかるようにしておけば良かった。
- ・もっと勉強しておけば良かった。授業をしっかり受ける。
- ・級長や副級長をやっておけば良かった。
- ・英検や漢検などの検定試験にもっとチャレンジすれば良かった。(準2級以上)
- ・敬語をもっとうまく使いこなせるように、普段から意識するべきだった。

進路 は、**将来の問題ではなく**
現在の問題なのだ

○授業に向かう姿勢についてアドバイス

- ・評価の観点が変わり、発表の重要性が上がった気がするので、できるだけ発表をした方がいいと思う。
- ・自分のために勉強を頑張る。自分の苦手なことや嫌なことにも積極的に取り組む練習をする。難しい勉強でも、わかろうとする気持ちで取り組むことが大切だとおもう。
- ・授業は積極的に参加する。「後で塾でやるから、、、」ではその授業を1時間無駄にしたことになり、もったいないので1時間の授業を大切にす。また、発表する機会があったら積極的にする。
- ・授業中は絶対に眠らない。休み時間に寝てください。おしゃべりはしない、提出物は期限を守って全部出す。
- ・一般入試でも推薦でもスポーツだけではどうしようもないから嫌いでも苦手でも勉強はしないとイケない。
- ・まずは自分で考えてみて、わからないことがあったら先生や友達に聞いてわかるようになるまでやってみること。
わからないところは積極的に質問することが大切だと思う。
- ・先生の目を見て話を聞く。
- ・集中して授業を受けると授業が早く終わる感じがするし、授業中にやるべきことは終わらせておく方が楽です。
- ・提出物は早めに取り組み始め、すべて出すこと。
- ・できるだけ授業の中で理解して完璧にすること。予習ができていれば、もっといいと思う。
- ・授業はわからないことをわかるようにするためや新しい発見をするためのものだと思うから、苦手な教科でもちゃんと聞いた方がいいと思う。また、塾などで予習している人は授業がつまらなと感じる人がいると思うけど、その人達も授業を聞き流すだけでも復習になると思うから、ちゃんと授業は受けた方がいいと思う。
- ・休み時間と授業のメリハリをつける。
- ・先生の話をしっかり聞き、発表やグループ活動を積極的に取り組む。
- ・積極的に発表したり、ノートをまとめたりと授業態度を良くする。
- ・眠くても眠らないで頑張っておくことが大切です。また、提出物等も期限内に出すことが1番ですが、期限が過ぎてもあきらめずに先生にお願いして出すことが、私はいいと思う。

○学校生活（行事・委員会・部活・身なり等）についてアドバイス

- ・何事も真剣に楽しむことが一番いいと思う。行事は自分で「楽しい！！」と思えるように考えて取り組むことが大切だと思う。部活動は真剣に取り組めば取り組むほど実績もできるのでいいことづくしです。
- ・委員会や部活動などは積極的に行なう。いろいろな活動を通していい経験ができるし、実績にもなる。勉強だけでは得られない知識を得ることができる。
- ・学校の校則を守ることは基本中の基本であり、校則を守れない人は勉強にも支障が出てくる。
- ・校則違反しない程度に自由に過ごし、一日一日を大切に生活する。数少ない行事でもコミュニケーションの取り方や協力することの大切さを学べばいいと思う。
- ・苦手なことでもあきらめず最後まで頑張ること。新しいことに積極的に挑戦する。
- ・日頃から他の人の手本になるような身なりや行動をとっていた方がいい。
- ・スカート短いといいことない。身なり検査で1回でも引っかかったら、推薦はしてもらえないと思った方がいい。
- ・とりあえず実績をたくさん取る。・部活で活躍してまじめにする。
- ・行事や委員会活動は全力で無我夢中になって一生懸命取り組むと楽しめるし、仲間とも仲良くなれると思う。
- ・先生方には敬語で話し、行事は楽しみ、部活は本気で九州大会まで行く勢いで頑張り、推薦を考えているなら、部活か検定でいいからいい実績を残しておくこと。
- ・みんなで取り組んだら、楽しくできる。(できないことは気にしない。)
- ・自分から何でも率先してやる。(思い出になるし、先生方からの評価もアップ！)
- ・制服は着崩さない。(ボタンを外すことや変なジャージの着方はダメ×)
- ・委員会活動はやっておけば、できることが増えていくからいい。
- ・身なりなどは細かいことを今のうちに気をつけておけば、将来社会に出ても焦らずにすみ、面接のときなどでも安心して望めます。
- ・遅刻しないで、毎日登校すること

- ・全部が平均以上じゃなくていいから、誰にも負けないものを1つでも見つけ出せばいいと思う。
- ・身なりは違反しないように気をつけ、校則を守ること。
- ・委員会活動や部活動は今しかできないことだから、積極的に全力で取り組むといいと思う。
- ・日常生活の中で先輩や先生方などの目上の人に、ちゃんと敬語が使えるようにしておくといいと思う。
- ・嫌なことも、好きなことのためにやった方がいい。

～その他、後輩へ伝えたいこと～

- ・早めに目標を決め戦力や優先順位をしっかりと決めてから受験勉強に取り組む。志望校決定は高校見学に行き、学校の様子や在校生の様子を見たり、高校のホームページや周りの人からの情報を収集して、比較しながら志望校を決めるといいと思う。
- ・自分は勉強が苦手だから、できれば推薦で高校は行きたいと思っていて、中学1年生のときから推薦を意識して生徒指導や遅刻をしないように頑張ってきた。
- ・友達選びは大事、互いに良い方向へ向かう相手を選びましょう。
- ・検定などに積極的にチャレンジすると良い。
- ・自分じゃできない、できなかったからあきらめるって自分にとって本当にいいことだと思いますか？
- ・検定は早いうちから受けておくこと。いろいろな検定を受けることは大切だけど、推薦になると一番高いランクの実績しか出せないことがあるので、「自分は〇〇検定〇級以上をとる！」と決めておく。準2級以上はとっておいた方がいい。

先輩からのアドバイス